



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

上場会社名 コージンバイオ株式会社

上場取引所

東

コード番号 177A

URL <http://kohjin-bio.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 高橋 晴香

(TEL) 049-298-4154

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	974	△20.1	△54	—	△36	—	△41	—
2026年3月期第1四半期	1,219	△1.8	131	△36.6	116	△48.4	82	△49.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △12百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 47百万円(△75.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△8.20	—
2026年3月期第1四半期	16.10	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	8,789	5,881	66.9
2026年3月期	8,904	5,945	66.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 5,881百万円 2026年3月期 5,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,722	△4.4	137	△59.8	147	△56.8	110	△55.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	5,111,600株	2026年3月期	5,111,600株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	一株	2026年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	5,111,600株	2026年3月期1Q	5,111,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続による個人消費への影響に加え、米国の通商政策を巡る不透明感や金融資本市場の変動など、先行きについては慎重な見方が続いております。

海外経済においては、米国の関税政策を含む通商政策の不確実性が高まり、国際機関においても世界経済の成長鈍化リスクが指摘されました。また、貿易摩擦の拡大や地政学的リスクの高まりがエネルギー価格や国際物流、金融市場に影響を与えるなど、不透明な状況が継続しております。

再生医療業界においては、細胞治療および再生医療等製品の研究開発や臨床応用が引き続き進展し、細胞培養用培地をはじめとする関連製品への需要は堅調に推移いたしました。一方、中国において細胞治療関連規制の強化が進められたことに伴い、一部細胞治療クリニックにおける診療活動が停滞し、細胞治療関連市場に影響がみられました。また、感染症関連製品については、過去の需要増加の反動減が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは再生医療関連事業の拡大に取り組むとともに、培地製品の拡販、細胞加工受託案件の獲得および生産効率の向上に努めてまいりました。組織培養事業においては、中国における細胞治療関連規制の強化の影響によりOEM培地の販売が計画を下回ったものの、微生物事業は概ね計画どおり、細胞加工事業では幹細胞関連案件の受託により計画を上回って推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は974百万円（前年同期比20.1%の減少）となり、営業損失は54百万円（前年同期は131百万円の営業利益）、経常損失は36百万円（前年同期は116百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は41百万円（前年同期は82百万円の四半期純利益）となりました。

なお、各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(組織培養事業)

当第1四半期連結累計期間における組織培養事業は、再生医療および細胞治療分野における研究開発活動の継続を背景に、細胞培養用培地の需要が堅調に推移いたしました。

主力製品であるKBM培地は国内研究機関および企業向け販売が堅調に推移し、計画を上回る実績となりました。また、国内におけるOEM製造受託は好調に推移した一方、中国では、細胞治療関連規制の強化に伴い、一部細胞治療クリニックにおいて診療や細胞治療サービスの提供が停滞した影響を受け、培地需要が減少いたしました。この結果、OEM培地売上高は計画を下回り、事業全体の売上高を押し下げる要因となりました。

以上より、売上高は472百万円（前年同期比24.2%の減少）、セグメント利益（営業利益）は144百万円（前年同期比38.7%の減少）となりました。

(微生物事業)

当第1四半期連結累計期間における微生物事業は、病院および検査機関向け培地製品の販売が堅調に推移いたしました。主力の培地製品については、臨床検査用途および産業用途向け需要が底堅く推移し、計画を上回る実績となりました。一方、新型コロナウイルスおよびインフルエンザ関連を中心とした抗体・抗原キット製品については、過去の需要増加の反動減が続いております。しかしながら、培地製品および仕入商品の販売増加が減収影響を補完し、事業全体としては概ね計画どおりの推移となりました。

以上より、売上高は296百万円（前年同期比3.0%の減少）、セグメント損失（営業損失）は16百万円（前年同期は44百万円のセグメント損失）となりました。

(細胞加工事業)

当第1四半期連結累計期間における細胞加工事業は、国内を中心とした再生医療関連需要を背景に、受託加工件数が堅調に推移いたしました。

特に幹細胞関連案件が好調に推移し、受託売上高の増加に大きく寄与いたしました。また、細胞加工関連製品の販売も伸長し、事業全体の売上拡大を牽引いたしました。一方、がん免疫療法関連案件については前年を下回る水準で推移したものの、幹細胞関連案件の増加により吸収し、事業全体では計画を上回る結果となりました。

また、訪日外客数は回復基調にあるものの、当社は国内医療機関向け受託案件の拡大を進めており、特定のインバウンド需要への依存度低減を図りながら事業基盤の強化に取り組んでおります。

以上より、売上高は205百万円（前年同期比29.4%の減少）、セグメント損失（営業損失）は56百万円（前年同期は75百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 当第1四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。これは主に、消費税及び受取配当金に係る未収入金の増加等によりその他流動資産が56百万円増加した一方で、配当金の支払い等により現金及び預金が104百万円、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が70百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、固定資産は4,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少いたしました。これは主に、減価償却の進行により有形固定資産が51百万円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ114百万円減少の8,789百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が33百万円増加した一方で、賞与支給等により賞与引当金が35百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は544百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の振替により長期借入金が37百万円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ51百万円減少の2,908百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により利益剰余金が93百万円減少した一方で、為替換算調整勘定が29百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年5月15日付の2026年3月期通期決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,486,185	2,381,664
受取手形及び売掛金	594,838	524,228
電子記録債権	87,578	73,505
商品及び製品	294,693	298,297
仕掛品	109,076	80,216
原材料及び貯蔵品	468,048	544,402
その他	240,333	297,182
貸倒引当金	△12,595	△6,158
流動資産合計	4,268,157	4,193,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,880,678	1,848,862
土地	849,099	849,099
その他（純額）	1,068,421	1,048,853
有形固定資産合計	3,798,198	3,746,815
無形固定資産	18,927	21,435
投資その他の資産	819,112	828,222
固定資産合計	4,636,239	4,596,472
資産合計	8,904,397	8,789,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	117,007	150,556
電子記録債務	66,678	77,159
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	21,195	24,294
賞与引当金	70,281	34,855
その他	444,153	426,376
流動負債合計	2,369,315	2,363,243
固定負債		
長期借入金	225,000	187,500
退職給付に係る負債	46,995	48,691
資産除去債務	55,184	55,307
その他	262,721	253,460
固定負債合計	589,901	544,959
負債合計	2,959,217	2,908,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,984	1,253,984
資本剰余金	1,153,134	1,153,134
利益剰余金	3,393,412	3,300,363
株主資本合計	5,800,530	5,707,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,906	3,770
為替換算調整勘定	140,742	170,356
その他の包括利益累計額合計	144,648	174,126
純資産合計	5,945,179	5,881,608
負債純資産合計	8,904,397	8,789,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,219,564	974,170
売上原価	731,891	670,400
売上総利益	487,673	303,769
販売費及び一般管理費	356,598	358,388
営業利益又は営業損失(△)	131,075	△54,619
営業外収益		
受取利息	119	97
受取配当金	1	1
受取賃貸料	2,809	2,809
持分法による投資利益	11,757	25,863
その他	195	1,045
営業外収益合計	14,883	29,816
営業外費用		
支払利息	9,784	10,120
支払手数料	747	249
支払補償費	14,634	-
その他	4,335	1,096
営業外費用合計	29,501	11,466
経常利益又は経常損失(△)	116,456	△36,269
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	116,456	△36,269
法人税等	34,174	5,663
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,282	△41,932
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	82,282	△41,932

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,282	△41,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	△135
為替換算調整勘定	△35,221	29,613
その他の包括利益合計	△35,182	29,477
四半期包括利益	47,099	△12,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,099	△12,455

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	622,922	305,639	291,003	1,219,564	—	1,219,564
外部顧客への売上高	622,922	305,639	291,003	1,219,564	—	1,219,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	622,922	305,639	291,003	1,219,564	—	1,219,564
セグメント利益又は 損失(△)	235,041	△44,141	75,767	266,667	△135,592	131,075

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,592千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	472,206	296,378	205,584	974,170	—	974,170
外部顧客への売上高	472,206	296,378	205,584	974,170	—	974,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	472,206	296,378	205,584	974,170	—	974,170
セグメント利益又は 損失(△)	144,110	△16,797	△56,244	71,068	△125,687	△54,619

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△125,687千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	85,200千円	89,764千円